

平成 26年 1月16日 (木)
 照会先：保健福祉部保健予防課
 健康危機管理対策室
 担当者：室長補佐（総括）
 柴田 隆之

インフルエンザ流行情報（第4報）

●インフルエンザ流行情報

本県における平成26年第2週(1月6日～1月12日)のインフルエンザ流行指数は**5.33(第1週は2.70)**となりました。患者の報告数がほぼ倍増しています。

保健所管内別では日立保健所管内が最も高く8.00となっています。常陸大宮保健所、鉾田保健所、古河保健所の各管内でも7.00以上となっています。前週の報告数が少なかった地域でも患者が急増しています。

県民の皆様に対し「手洗い・うがいの励行」「咳エチケットの実践」等インフルエンザの予防をお願いいたします。

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

保健所	定点数	調査期間： H26. 1. 6～H26. 1. 12(第2週)			調査期間： H25. 12. 30～H26. 1. 5(第1週)		
		患者数	流行指数 ※1	注意報・警報の状況	患者数	流行指数 ※1	注意報・警報の状況
水戸	17	66	3.88	－	23	1.35	－
ひたちなか	8	45	5.63	－	14	1.75	－
常陸大宮	8	57	7.13	－	10	1.25	－
日立	11	88	8.00	－	71	6.45	－
鉾田	5	36	7.20	－	7	1.40	－
潮来	8	48	6.00	－	19	2.38	－
竜ヶ崎	14	87	6.21	－	51	3.64	－
土浦	13	37	2.85	－	22	1.69	－
つくば	10	40	4.00	－	47	4.70	－
筑西	10	41	4.10	－	19	1.90	－
常総	8	35	4.38	－	6	0.75	－
古河	8	59	7.38	－	35	4.38	－
県全体	120	639	5.33	－	324	2.70	－

※1 インフルエンザ流行指数は1定点あたり1週間の平均患者数

$$\text{インフルエンザ流行指数} = \frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数}}$$

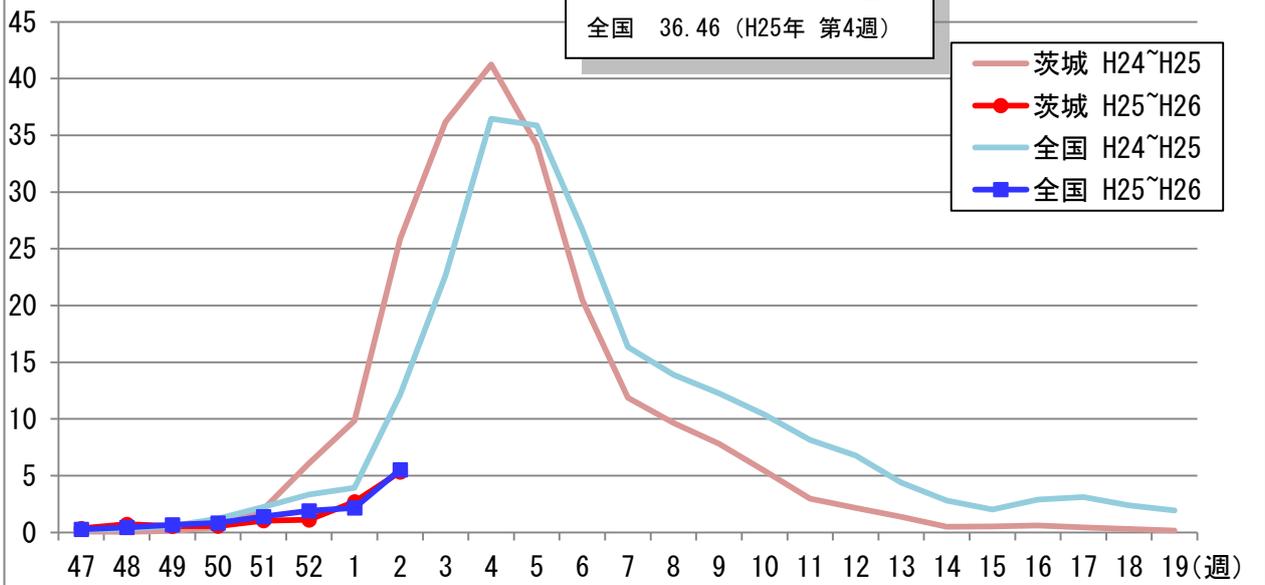
・インフルエンザ定点数は県内に120医療機関

感染症発生動向調査(流行指数の推移)

昨シーズンピーク

茨城 41.25 (H25年 第4週)

全国 36.46 (H25年 第4週)



インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 流行指数が**基準値(注意報:10 警報:30)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において流行指数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
なお、警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。

《備考》

インフルエンザの予防について

～ひろげるなインフルエンザ！ひろげよう咳エチケット！～

◆ インフルエンザにかからない、うつさないための対策



☆帰宅時の手洗い、うがい

手やのどにウイルスがついたままにしないことが大切です

☆咳エチケット

咳やくしゃみをする時は鼻や口をおさえましょう
マスクをしましょう



☆予防接種

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・ 一般的に、インフルエンザを発症してから3~7日間はウイルスを排出すると言われていますので、その間は外出を控えましょう。